

## (12) 非常勤講師等

## ① 非常勤講師

## ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	担当時間数
学習臨床学特論	12
いのち教育論	12
現代教育方法学特論	30
心理教育的アセスメント演習	30
心身医学特論	30
視覚障害教育課程・指導法	10
漢文学特論	32
政治学特論	30
数学教育学特論B	30
理科野外観察指導実習H	15
音楽における心理と発達	15
西洋美術史特論	30
体育心理学特論	30
住居学特論	30
校内の授業研究のシステム化と授業研究の方法	30
教育課程行政特論	30

## イ 学校教育学部

授業科目名	担当時間数
社会教育計画A	32
社会教育計画B	32
社会教育演習 I	30
社会教育演習 II	30
博物館概論	15
博物館経営・情報論	30
博物館資料論	10
学校図書館メディアの構成	23
学校経営と学校図書館	30
教育方法学	30
生涯学習概論B	30
保育・健康の指導法	30
家庭の教育と育児	10
子どもの福祉	30
社会福祉 I	30
社会福祉 II	30
養護内容	30
国語学講読B	32
国語学演習A	32
漢文学講読	32
英文学演習	30
比較文化	30
日本史研究A	30
倫理学概説	30
社会学概説	30
考古学認識論	30
ヨーロッパ史認識論	30
算数	32
音楽	32
独唱Ⅲ	30
合奏B	30
美術史論	30
スポーツ実践	24
スノースポーツ	30
体育哲学	30
金属加工法	30
被服学	15
住居学(製図を含む。)	10
家庭電気・機械・情報	20

## ②教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。）

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
人間教育学セミナー (教職の意義)	教育実践の視点からの教職の意義	4
総合演習 (学校と食の教育)	人と食との関係を総合的に理解すると共に、学校での食の教育に必要な知識や指導の方法を学習する。また、食に関する指導の実践例の紹介を通じて食の教育への理解をより深める。	12
健康・安全・食の教育入門	学校が一体をなっていくことが求められている心身の健康、安全及び食に関する指導に関する知識や指導の方法やこれらの指導における学校内の連携、家や地域社会との連携についても学習し、学校における食に関する指導の実践力を養成する。	6
総合・生活科指導法A	生活科及び総合的な学習について、教育実習に必要な知識・技能を提供する。	8
学習場面観察基礎	子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	2
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・過程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
特別支援教育基礎 (介護等体験の指導内容を含む)	特別支援教育の理念と実際についての基礎的事項及び介護等体験の理念と体験を実施する特別支援学校や社会福祉サービスの現状について理解を深める。	6
障害児保育 (保育士養成関連)	保育所や幼稚園における障害のある幼児に対する保育について、子ども理解及び障害特性に基づいた保育の方法について理解を深める。	14
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	10
中等国語科指導法（課程論）	中学校の国語科授業におけるカリキュラム開発について実践的な立場から説述する。	2
中等国語科指導法（授業論）	中学校の国語科授業における授業計画の立て方について実践的な立場から説述する。	4
中等国語科指導法（学習論）	中学校の国語科授業における学習指導の具体的な在り方と方法について実践的な立場から説述する。	2
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際	12
数学科指導法	問題解決の立場に立つ数学の授業構成と展開の実際 「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際	6
中等英語科指導法 (授業論)	中学校の英語科授業における授業計画の立て方や評価について実践的な立場から学ぶ。	6
初等音楽科指導法	初等音楽科教育における学習指導法などの理解を深める	20
中等音楽科指導法 (実践応用論)	中等音楽科指導法について主として実践力の向上をめざす	2
図画工作科指導法	図画工作科の教科とその指導について、実践的立場から講義する。	12
初等体育科指導法	現場実践を踏まえた授業補助	16
中等技術科指導法 (基礎論)	技術科授業の構成と実践（特に情報技術とコンピュータ）に関する基礎論	2
中等技術科指導法 (課程論)	技術科カリキュラムの構成と実践（特に情報技術とコンピュータ）	2
初等家庭科指導法	教育現場における小学校家庭科の指導について教授すると共に、教育現場管理職の視点から家庭科指導法への提言を行う。教育現場におけるいのち教育の実践について指導助言をおこなう。	24
中等家庭科指導法 (教材論)	中学校家庭科の教育現場における教材について、紹介、指導、助言を行う。	2

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
総合・生活A	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的知識を提供する。	2
総合・生活B	生活科・総合的学習の時間を指導する際、教員志望者に求められる、必要不可欠な知識・技能の基礎的な研究、研究方法を、豊富な事例をもとに習得する。	16
学習指導と学校図書館	学校図書館の活用およびその指導内容・方法について、実践的な立場から説述する。	8
家庭の教育と育児	乳幼児の教育・保育について実践的な理解を深める。特に3歳未満児の教育・保育を対象とする。	8
実践セミナーⅠⅡ「家庭」、及び実践場面分析演習ⅠⅡ「家庭」	中学校家庭科の教育現場における授業について、紹介、指導、助言を行う。	2

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
保育実習Ⅰ	保育所実態と具体的な指導法の理解を図る。	4
保育実習Ⅱ	母子生活支援施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
介護等体験（社会福祉施設） 事前指導（学部・免P）	教員免許状を取得するには、介護体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を実施する。	2
教育実地研究Ⅱ （授業基礎研究）	教育実習に向けての授業の質的充実のため	198
教育実地研究Ⅳ （中等教育実習）	教育実習の事前・事後指導にかかわる授業の質的充実のため	14

③ ティーチング・アシスタント  
修士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
体験学習・共通	五百川 他	通年	不定期	30 時間
体験学習 A	渡辺 他	通年	不定期	30 時間
体験学習 B	五百川 他	通年	不定期	30 時間
体験学習 D	長谷川正 他	通年	不定期	30 時間
体験学習 E	東原 他	通年	不定期	30 時間
体験学習 F	伊藤将, 五十嵐史	通年	不定期	30 時間
ボールゲーム	榊原, 土田	通年	一部集中	16 時間
中国語・中国事情	黎	前期	月 3	30 時間
健康・安全・食の教育入門	立屋敷 他	前期	月 1	15 時間
表現・相互行為教育演習	松本健 他	前期	火 1	15 時間
音楽	平野俊 他	通年	木 3	46 時間
図画工作 A	洞谷 他	前期	金 3	30 時間
図画工作 B	洞谷 他	前期	木 1	30 時間
図画工作 C	洞谷 他	前期	火 3	30 時間
図画工作 D	洞谷 他	前期	木 4	30 時間
体育 A B	大橋 他	前期	火 4	30 時間
体育 C D	大橋 他	前期	火 2	30 時間
算数科指導法 A B	高橋等, 伊達	前期	木 2	15 時間
算数科指導法 C D	高橋等, 伊達	前期	火 2	15 時間
初等音楽科指導法 A B	時得, 尾崎	前期	月 2	30 時間
初等音楽科指導法 C D	時得, 尾崎	前期	木 2	30 時間
初等体育科指導法 A	周東 他	前期	月 1	30 時間
初等体育科指導法 D	周東 他	前期	水 1	30 時間
初等家庭科指導法 A B	得丸, 佐藤ゆ	前期	火 2	15 時間
初等家庭科指導法 C D	得丸, 佐藤ゆ	前期	火 1	15 時間
指揮法	長谷川正	前期	木 5	30 時間
地学実験	天野 他	前期	月 4.5	30 時間
地理学野外実験	山縣 他	前期	集中	30 時間
書写書道 II	押木	前期	月 3	30 時間
身体表現の基礎	榊原, 大橋	前期	金 2	30 時間
心理学実験 (H22年度以前入学者用)	森口 他	前期	木 3.4	30 時間
造形基礎 A C	安部 他	前期	月 5	30 時間
電気工学実験実習	川崎	前期	木 4	30 時間
食生活論	立屋敷	前期	木 1	30 時間
造形基礎 B D	西村 他	前期	月 4	30 時間
保育学実習	吉澤	通年	集中	30 時間
栽培法	山崎	前期	木 3	30 時間
デザインワーク II	安部	前期	月 3.4	30 時間
工芸表現 B	高石	前期	木 4	30 時間
日本画表現	洞谷	前期	火 4	23 時間

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
総合演習（学校と食の教育）	立屋敷	後期	月 5	30 時間
スノースポーツ	市川 他	後期	集中	30 時間
保育・表現の指導法	香曾我部, 阿部靖	後期	金 2	30 時間
教育情報演習 A	井上	後期	月 4	30 時間
教育情報演習 B	大森	後期	金 3	30 時間
教育情報演習 C	高野	後期	月 3	30 時間
教育情報演習 D	石川	後期	木 2	30 時間
表現・状況的教育方法演習 A B	高石, 田島	後期	月 5	30 時間
表現・状況的教育方法演習 C D	五十嵐素 他	後期	月 5	30 時間
計算機数学演習	林田	後期	木 4	30 時間
カウンセリング基礎演習	山本隆	後期	水 2	30 時間
心理学実験 〈H23年度以後入学者用〉	森口 他	後期	木3.4	30 時間
書写書道 I	押木	後期	月 2	30 時間
生物学実験	谷, 小川	後期	木4.5	30 時間
冬季野外運動（スキー）	市川	後期	集中	30 時間
調理の理論と実習	立屋敷	後期(前半)	火3.4.5	30 時間
被服製作の理論と実習	佐藤悦	後期(後半)	火3.4.5	30 時間
木材機械加工法	東原	後期	月 4	30 時間
物理学実験	定本, 長谷川敦	後期	月3.4	30 時間
彫刻表現 I	松尾	後期	木 5	30 時間
機械工学実習	黎	後期	木 4	30 時間
伝統絵画表現と鑑賞	洞谷, 伊藤将	後期	火 5	30 時間
油彩画表現	伊藤将	後期	火 4	30 時間
デザインワーク I	安部	後期	木 3	30 時間

#### 博士課程

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
大学院 学習臨床学特論	松本健義 他	前期	木 4	15 時間
大学院 意味生成表現と教材開発	松本健義 他	前期	月 5	15 時間
大学院 学習場面臨床学特論	松本 健義	前期	月 2	15 時間
大学院 造形表現学習過程特論	松本 健義	後期	火 2	15 時間
大学院 メディアデザイン研究	西村, 安部	後期	月1・2	60 時間
大学院 木工芸研究	西村 俊夫	前期	木1・2	60 時間
学部 工芸表現 A	西村 俊夫	後期	木 5	30 時間
大学院 電気技術実験実習	川崎 直哉	後期	集中	30 時間
大学院 応用情報システム工学演習	大森 康正	後期	木 3	30 時間
大学院 いのち教育論	得丸定子 他	前期	月 3	15 時間
大学院 家庭科教育学演習	佐藤 ゆかり	後期	水 2	30 時間
学部 いのちのネットワーク論	得丸 定子	後期	木 4	15 時間
学部 中等家庭科指導法（教材論）	得丸 定子	後期	集中	15 時間

#### ④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
国語（書写を含む。）	押木	前期	集中	30 時間
社会	小島 他	前期	火 5	30 時間
音楽	平野俊 他	通年	月 6	46 時間
図画工作	洞谷 他	前期	木 6	60 時間
家庭	得丸 他	前期	月 2	30 時間
道徳の指導法	林	前期	金 6	30 時間
特別活動論	橋本	前期	金 1	30 時間
初等理科指導法	小林辰, 稲田	前期	火 6	30 時間
初等音楽科指導法	時得, 尾崎	前期	火 2	30 時間
初等体育科指導法 B	周東 他	前期	月 1	30 時間
初等体育科指導法 C	周東 他	前期	水 1	30 時間
初等家庭科指導法	得丸, 佐藤ゆ	前期	木 6	30 時間
理科	高津戸 他	後期	月 2	30 時間
体育	大橋 他	後期	火 5	30 時間
算数科指導法	布川, 宮川	後期	水 6	30 時間

⑤ リサーチ・アシスタント

任 用 期 間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト代表者
平成24年6月1日 ～平成25年3月31日	200時間	死生観を基盤とした人間関係育成教育	学校教育研究科	得丸 定子 教授
平成24年6月1日 ～平成25年3月31日	200時間	造形表現行為の形成過程における活動単位と発達に関する臨床学的研究	学校教育研究科	松本 健義 教授